



2026.4 Vol.114

発行：野洲図書館
(野洲市辻町410番地)

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>

「YAのページ」では、司書が週替わりでいろんなことをつぶやいています♪あそびにきてね☆

野洲図書館のホームページはこちら→→



今号の内容は…

★表紙の1冊 ★司書のオススメ ★新しく入った本

デス

表紙の1冊

フットボールが好き。アイスが楽しみ。家族を、愛している。

『クリーム、シリアとアメリカのはざままで』

シファー・サルタージ・サファディ／著 山田 文／訳 作品社 K933/47



シリア系の両親（マーマーとバーバー）のもと、アメリカで生まれたクリーム。フットボールが大好きで、選手になることを夢めている。時にケンカをしながらも、一家は仲良くアメリカで暮らしていた。そんなときマーマーがジッドゥ（祖父）にアメリカで治療を受けさせるためシリアに戻るが、イスラム教徒を入国禁止とする大統領令が出され、マーマーもアメリカに帰れなくなってしまう。

◆クリームの何がいいって、ちゃんと言い返せるところ。いじめに対して何もできず…という展開が続くかと思いきや、気づいたらオースティンみたいな嫌なタイプのクラスメイトに自然にポンポンと反論している。国を挙げての人種差別という、強大な不条理に直面しながら、小さなところからそれは違うって言う。すごく大事なことです。

この本が発行されて間もなく、アメリカが中東国イランに軍事攻撃を開始しました。「どうして悪いやつらがわたしたちみんなの代表なわけ？」クリームのお姉さんの言葉が響きます。ムスリムや〇〇人ではなく、ひとりひとりの顔を見ることの大切さを訴えるこの本を、世界に届けたいです。(ざ)

司書のオススメ

空気は読む…のか？

『教室のハルモニア』

辻 みゆき／作 さ・え・ら書房 **K913/77**



中学2年、一ノ瀬芽生いちのせめいのクラスに、転校生がやってきた。颯爽と現れた九十九友花つくもともかは、その明るいキャラクターでみんなに受け入れられたものの、しだいに執拗しつようにいじられるようになる。しかし、友花の行動はクラスみんなの予想を超えるものだった…。

◆転校生の友花がしつこくいじられて(正しくはいじめ！)います。このとき、あなたならどうする？①乗っかる②目をそらす③それとも…。芽生の心配をよそに、当の友花は変わらず、みんなに平等に接していますが、それには秘密があって…。

芽生の誠実さに救われます。そして、ぜんぜんかみ合わない友花のフラットさが気持ちいい！マウント、カースト、暗黙のルール…。一人一人が想像力を働かせれば、よどんだ空気を入れ替わるはず！（る）

希望はある！…しらんけど！

『しらんけどな』

村上 しいこ／作 さ・え・ら書房 **K913/67**



マンガイコンビ「しらんけどな」は、高身長イケメンの中津なかつがボケ、お笑い大好きな港太こうたがツッコむ中学二年の二人組だ。過去の挫折から立ち直ろうとする中津と、コンビを続けたくて中津を素直に応援できない港太、そしてコンビの名付け親の小松崎絢香こまつざきあやかの3人はそれぞれの将来のことを考えながら悩んでいた。「しらんけどな」は存続できるのか！？

◆相手のことを分かっているつもりでも、悩んでいるのに気がついていないこともある。進みたい道が相手と自分でちがってしまったとき、相手のことを大切に思うからこそしんどくなる。自分の「やりたいこと」なんてはっきり分からないけど、誰かにいわれるままなのもモヤモヤする。イヤなことや、難しいことを考えると胸が苦しくなるけど、「なんとかなるんちゃう？しらんけど！」って笑えたらちょっと楽になるような気がする。(だ)

『幕末エルフ』

鞘童子／著 KADOKAWA（富士見ファンタジア文庫）

B913.6/サヤ



幕末の京都。浪人・時代己道は、攘夷派志士に追われ傷だらけのエルフ・メスティーを助ける。居合わせた天才剣士・沖田総司との勝負で絶命したかと思われた己道であったが、メスティーの魔術により蘇生される。しかしそれには大きな対価が払われていて……。命に執着していなかった己道が、少女の願いに突き動かされ、幕末に渦巻く強敵に立ち向かっていく。

◆侍×魔術！？これが思ったよりしっくりきまして、バトルシーンが爆発的に熱い！！（一方そんな世界で刀1本で戦う新選組のかっこいいこと…！）幕末ファンタジーという大胆なジャンルですが、敵たちの、異質なものを排除しようという差別・自分たちこそファースト的考えが、ねっとりとした現代の闇に重なり、命を懸けてそれに対抗する己道たちの姿に感情揺さぶられました。（ざ）

恋は難しすぎて、僕にはまだ早い。

『男子の恋のありがち』

青春 bot／著 スターツ出版 152.1



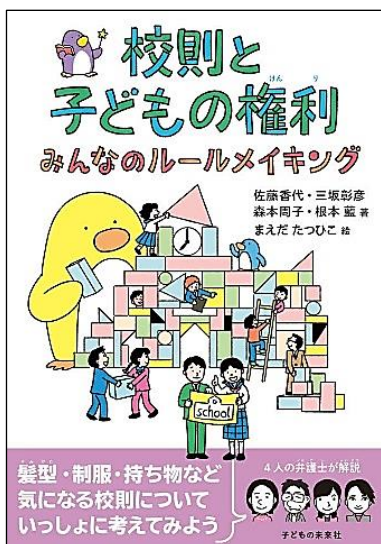
好きすぎて不器用になる。小さなことに一喜一憂する。友だちの恋を応援しているけれど、ときどきちょっとひやかしてみる。そんな恋にまつわる「あるある」を、かわいいイラストとコメントつきで紹介します。

◆「男子の」とタイトルにはありますが、男子じゃなくても、共感できる言葉がたくさんありました。誰かに恋をしている人も、そうでない人も、ひとつは「わかる～！」と思えるフレーズが見つかるはず。私のお気に入りには、「鏡の前で整えているのは、髪じゃなくて勇気かもしれない。」です。確かに、鏡の前で「心の準備」してる時間ってあるよなあ…（恋愛以外の大事な場面でも）。（だ）

尊重とルール？

『校則と子どもの権利～みんなのルールメイキング～』

佐藤 香代／ほか著 子どもの未来社 K375



学校の校則・ルールはなぜ必要？校則やルールを見直す方法は？ルールメイキングってどうやるの？4人の弁護士とペンギンのペンペンが解説します。

◆「子どもの権利条約」では、子どもは一人の人間として意見が尊重されることが保障されています。これに基づき「こども基本法」では、大人は、子どもの最善の利益を第一に考えること・子どもは意見を聴かれる権利があることなどが定められています。とはいえ、子どもを守るためには、ときには制限が必要なことも。校則の目的は、学校で子どもが自分らしく学べるためにはあるはず。

校則に従うか・破るかの二択ではなく、子どもを守る立場の大人と、一人の人として尊重された子どもが意見を出し合って、ルールを見直していく。そんな時代が来たんだなああとまぶしく感じました。（る）

NEW ARRIVAL

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル	著者	出版社
人生がちよっとよくなる読書術	斉藤 洋／著	講談社
いちから考える「夫婦別姓」のこと	橘高 真佐美／監修	さ・え・ら書房
13歳からの家族の研究	白井 千晶／著	かもがわ出版
中学校・高校教諭になるには	山田 恵吾／編著	ペリかん社
知りたい! 専門学校工業・農業分野	三井 綾子／著	ペリかん社
受験の叢智	合格の天使／著	エール出版社
高等専門学校	池田 亜希子／著	ペリかん社
歯科衛生士・歯科技工士になるには	宇田川 廣美／著	ペリかん社
わたし、声優になりたい!	千馬 ヒロキ／著	Gakken
落語家になるには	渡邊 寧久／著	ペリかん社
サイレント・ウィッチ 11	依空 まつり／著	KADOKAWA
水属性の魔法使い 第3部[5]	久宝 忠／著	T0 ブックス
ブリッツ・マジック・スケーリング	支倉 凍砂／著	T0 ブックス
聖女に嘘は通じない 2	日向 夏／著	フロンティアワークス
ぼくがぼくであるために	蒼沼 洋人／作	ポプラ社
5分後に意外な結末 ex セルリアンの空の裂け目から	桃戸 ハル／編著	Gakken
日向丘中学校カウンセラー室 3	まはら 三桃／著	アリス館
指輪	江戸川 乱歩／ほか著	汐文社
ウソ学校	チョン ソンヒ／著	影書房
崖の上のヒバリたち	シヴォーン・ダウド／著	東京創元社
ひとりぼっちのグジラとわたしの歌	リン・ケリー／作	静山社
シャドウ・ベイビー	アリスン・マギー／作	ほるぷ出版
世界の終わりが来るまえに	アンナ・ウォルツ／作	フレーベル館
あそびのかんけい 1、2	葵 せきな／著	KADOKAWA
リコリス・リコイル 3	アサウラ／著	KADOKAWA
負けヒロインが多すぎる! 8.5	雨森 たきび／著	小学館
死亡遊戯で飯を食う。 9	鶺鴒 有志／著	KADOKAWA
とっておきの論理を、君と。	逆井 卓馬／著	KADOKAWA
Re:ゼロから始める異世界生活 43	長月 達平／著	KADOKAWA
声優ラジオのウラオモテ #14	二月 公／著	KADOKAWA
狼と羊皮紙 12	支倉 凍砂／著	KADOKAWA
ジェラシス	三月 みどり／著	KADOKAWA
ただの後方腕組転生者、うっかり勇者に拍手を送ったら黒幕扱いされる。	森空亭／著	KADOKAWA
乙女ゲームの破滅フラグしかない悪役令嬢に転生してしまった… 15	山口 悟／著	一迅社



編集後記：◆休憩中に『幕末エルフ』の話をしていて「私、『銀〇』世代だから幕末の人物名をよく間違えるんですよ！」と笑っていたら、普通に原稿に「沖田総悟」って書いていました。早速間違えてますぜ、旦那。(ざ) ◆前号に続き、まじめな内容の本を選んでみました。だけど私生活の99%はふざけています。(る) ◆先日、ひさびさにバスに乗ったのですが、めっちゃ狭い道を結構なスピードで走り抜けるのがちょっとしたアトラクションみたいでした。運転手さん、すごい。(だ)